

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査(港南台第一中学校の結果)

令和6年4月18日に3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査結果の概要をお知らせいたします。

## 《教科に関する調査結果》

### ◎調査結果からみる本校の特徴

平均正答率 (%)	国語	数学
本校	59	53
全国との比較	+0.9	+0.5
神奈川県	59	54
全国	58.1	52.5

・国語、数学ともにはほぼ同率となっている。

※ 全国平均正答率については、横浜市教育委員会の公表と同様に整数値に直して表しています。

※ 神奈川県、全国の値は、公立学校の平均正答率です。

### ◎調査結果に特徴のある設問

全国平均正答率との差が5ポイント以上あった主な問題は次の通りです。

#### 《国語》

問題	全国との比較
「文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる」	-5.1
「表現の技法について理解しているかどうかをみる」	+5.0
「短歌の内容について、描写を基にとらえることができるかどうかをみる」	+6.5

#### 《数学》

問題	全国との比較
「連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる」	+9.1
「等式を目的に応じて変形することができるかどうかをみる」	+8.6
「複数の集団のデータの分析から、四分位範囲を比較することができるかどうかをみる」	-12.2

その他の設問については、国語、数学、ともに平均正答率を上回っているか、ほぼ同等の結果です。

## 《生活習慣・学習習慣に関する調査結果(抜粋)》

### ◎全国の調査結果との比較

生活習慣・学習習慣に関する調査結果において、全国と比較して特徴的なものを示すと次のとおりです。

(1) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)

⇒2時間以上と回答した生徒が8.6ポイント高い。

	3時間以上	2時間以上、 3時間より少ない	1時間以上、 2時間より少ない	30分以上、 1時間より少ない	30分より少ない	全く 使っていない	無解答
本校	6.1	8.6	12.9	21.5	30.1	20.2	0.6
神奈川県	2.8	4.0	10.3	20.9	36.1	25.4	0.5
全国	2.3	3.8	10.5	19.8	34.8	28.4	0.5

(2) 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

⇒肯定的に回答した生徒が6.9ポイント高い。

	きちんと 守っている	だいたい 守っている	あまり 守っていない	守っていない	携帯電話・スマートフォン やコンピュータは持っ ているが、約束はない	携帯電話・スマートフォ ンやコンピュータを持っ ていない	無解答
本校	33.1	46.0	4.9	1.2	12.9	0.6	1.2
神奈川県	32.5	42.1	6.4	1.4	15.4	1.5	0.7
全国	34.0	38.2	5.6	1.3	16.8	3.2	0.8

(3) 健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか⇒肯定的に回答した生徒が10.5ポイント低い。

	している	どちらかといえば、 している	あまりしていない	全くしていない	無解答
本校	19.0	47.2	30.7	1.8	1.2
神奈川県	24.7	49.5	20.8	4.4	0.6
全国	28.4	48.3	18.8	3.7	0.7

(4) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか  
⇒肯定的に回答した生徒が5.3ポイント高い。

	当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない	無解答
本校	41.7	54.0	2.5	1.2	0.6
神奈川県	42.5	47.9	6.9	2.3	0.4
全国	44.2	46.2	7	2.3	0.4

(5) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか  
⇒肯定的に回答した生徒が5.5ポイント高い。

	当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない	無解答
本校	30.1	42.9	16.6	9.2	1.2
神奈川県	27.0	39.7	22.5	10.3	0.5
全国	28.7	38.8	21.9	10.2	0.5

#### 《授業改善に向けて》

- ・自己有用感については「先生はよいところを認めてくれる」と答えた生徒の割合が全国・県の平均と比較して高いが、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」と答えた生徒の割合が低い。
- ・1、2年生のとき「考えを発表する機会では、考えがうまく伝わるよう工夫した」と答えた生徒が全国・県の平均を約10%程度上回っている。一方「スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていた」と答えた生徒の割合が、全国・県の平均より約20%程度少ない。
- ・国語の勉強は大切だと思っているが、国語を好きな生徒は県や全国に比べて少ない。一方、数学は好きな生徒が県や全国よりも多く、授業の内容がよく分かると解答している。引き続き、基礎問題の丁寧な解説を継続していきたい。
- ・国語では、話し合いの中で必要に応じて質問しながら話の内容を捉えたり、話し合いの話題や展開を捉えながら他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめたり、表現を工夫して自分の考えが伝わる文章を書いたりする問いの他、漢字や文法の問題が県や全国よりも低めであった。思考・判断・表現力の身に付け方を分かりやすく示して繰り返し活動させるとともに、文脈に即して正しく漢字を書き、文の成分の順序や照応について理解できるようにしていきたい。
- ・数学では、「図形」と「データの活用」が県や全国と比較して平均正答率が低いことがわかる。数学に関して、「授業がよくわかる」「将来に役に立つ」と答えている生徒が多い。また、ICT機器を勉強のために活用している、ICT機器を活用することは楽しい、と感じている生徒が多い。そこで、ICT機器を活用して図形やデータの活用についてイラストなどを用いて視覚的に理解しやすいようにする場面を設定していきたい。